岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 3

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	3	学年・学科	2学年・全学科
教科書	第一学習社「標準文学国語」	副教材	第一学習社「標準文学国語　学習課題課題集　」、尚文出版「常用漢字ダブルクリア」、数研出版「プレミアムカラー国語便覧」、啓隆社「国語常識の総復習」、尚文出版「国語必携ライトパーフェクト演習」				

学習目標	○近現代のすぐれた文学的文章に触れることにより、ことばによる見方・考え方を働かせ、言語活動を通じて、国語で的確に理解し効果的に表現する資質能力を育成します。 ○深く共感したり豊かに想像する力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。
学習方法	○様々な文章を読み、文章の特色や構成、内容に沿って読みを深めながら読解力を養います。 ○テーマに応じて、自分の考えをまとめたり話し合いをしたりすることで、思考力や表現力を伸ばします。 ○語句の意味の確認や副教材の活用をとおして、語彙を増やし言語感覚を磨きます。 ○小テスト、定期考査により知識・技能および思考・判断・表現の力を確認します。

学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 （言葉遣い、文の組み立て、漢字、語句、文学史、読書などについて）
	b	思考・判断・表現	・近現代の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ・相手や目的に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者と関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	c	主体的に学習に取り組む態度	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方感じ方考え方を深めようとしている。言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語の能力を向上させようとしている。

		重み付け	考査	考査外
		100%	50%	50%
前期中間	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%
		100%	50%	50%
前期末	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%
		100%	50%	50%
後期中間	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%
		100%	50%	50%
後期末	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%

学期	単元名（題材）	学習内容（小単元）	評価の観点 a	b	c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	○現代の小説(一) 「調律師のるみ子さん」 「デューク」	・登場人物の心理の変化や過程を、出来事を通して丁寧に読み取る。	○	○	○	b:本文に描かれた出来事や会話、行動の描写をとらえ、主人公の心情とその変化を読み取り、小説の主題について考えようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	○現代の詩 ・「生命は」 ・「そこにひとつの席が」 ・「食事」	・詩の構成や比喩、表現,に注目して読み、作者の捉え方や詩が提示するメッセージについて考え、それぞれの詩を鑑賞する。	○	○	○	b:作品の内容や表現で気になった箇所を示して、自分が感じたことや考えたことを文章にまとめている。 c:表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	
	○随想〈芸術〉 ・「花へのいざない」	・日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されている理解する。	○	○	○	b:作品の解釈を踏まえて、花が人の心にどのように影響をもたらしているかについて考え、自然に対するものの見方、感じ方を深めようとしている。	
	○常用漢字ダブルクリア	・漢字練習を通して、基本語彙を習得する。	○			a:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書ける。	
前期末	○現代の小説(二) ・「ナイン」	・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間関係の深浅について考察する。	○	○	○	b:登場人物の発言などから読み取れる心情について、根拠となる本文の場所を示し、自分の考えを説明している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	○随筆 ・「真珠の首飾りの少女」	・フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。	○	○	○	c:絵画に関心を持ち、記述方法の特徴や解釈の内容を整理しながら、筆者の「真珠の耳飾りの少女」への思いを説明し、発表している。	
	○国語常識の総演習	・漢字練習や問題演習を通して、語彙力を高める。	○			a:常識的な漢字の読み書きができ、ことわざや慣用句の意味、文学史などを理解している。	
後期中間	○近代の小説(一) ・「鼻」	・鼻が変化した主人公と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。	○	○	○	b:主人公の鼻と心情の変化、周囲の心理、態度を読み取り、作品の主題について考えようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	○近代の小説(二) ・「山月記」	・物語の展開と出来事を整理しながら、登場人物のそれぞれの心情をつかむ。	○	○	○	c:文章の特徴をとらえながら、虎になってしまった過程や心情などを読み取り、人間の心理について深く考え、自分の思いや考えをまとめている。	
	○国語常識の総演習	・問題演習を通して、語彙力を高める。	○			a:常識的な漢字の読み書きができ、ことわざや慣用句の意味、文学史などを理解している。	
後期末	○戦争と文学(一) ・「バクダッドの靴磨き」	登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、「僕」の発言の背景にあるものを理解する。	○	○	○	b:登場人物の心情、関係性などを正確に把握し、「僕」の発言の背景にあるものについて、説明することができる。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	○創作をする ・テーマを決めて短歌・俳句を作る	・短歌・俳句の特色を理解し、鑑賞する。 ・対象の捉え方や表現方法を理解し、テーマに応じた短歌・俳句を作る。	○	○	○	b:好きな短歌・俳句について自分なりに読み取ったことをまとめ、発表することができる。 c：教科書に示された短歌・俳句から文体や表現の技法を参考にして、積極的に短歌・俳句を創作しようとしている。	
	○国語常識の総演習	・問題演習を通して、語彙力を高める。	○			a:常識的な漢字の読み書きができ、ことわざや慣用句の意味、文学史などを理解している。	